



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社レオクラン

上場取引所 東

コード番号 7681 URL <http://www.leoclan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 誠人

TEL 06-6387-1554

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	12,340		86		87		44	
2019年9月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 40百万円 (%) 2019年9月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	22.92	22.79
2019年9月期第2四半期		

(注) 当社は、2019年9月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の数値及び2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	12,998	4,708	35.4
2019年9月期	12,814	4,340	33.0

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,602百万円 2019年9月期 4,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		40.00	40.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				45.00	45.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年9月期 期末配当金の内訳 : 普通配当 40円00銭、東証第二部上場記念配当 5円00銭

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,558	34.8	140	88.2	141	88.1	61	91.6	31.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	1,945,000 株	2019年9月期	1,784,000 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	株	2019年9月期	2,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	1,921,714 株	2019年9月期2Q	1,782,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大に伴う景気の減速傾向が急速に強まり、極めて先行き不透明な状況となっております。わが国経済においても、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、厳しい状況となっております。

当社グループが属する医療業界におきましては、人口が集中する地域での感染者数増加により医療提供体制が逼迫し、医療崩壊が危ぶまれる状況が生じており、官民一体となった体制整備が急務となっております。また、今後において感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、手術数や外来・入院患者数の減少等による病院経営への影響が懸念されております。一方で、新型コロナウイルスの収束時期に左右されるものの、今後においては、「地域医療構想」の実現に向けた丁寧な議論の積み重ねにより各医療機関において統合・再編を含めた病床転換が多く実施され、建築を伴う大型の設備投資の増加が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、従前と同様に、営業エリアを限定せず、全国での受注実績により入手した病院づくりに係る最新の情報を活かし、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売の受注のみならず、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入及びリプレース案件の受注活動を日本全国で展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、12,340,474千円、営業利益は86,192千円、経常利益は87,813千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は44,044千円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、受注環境は堅調に推移していることから、売上高は概ね想定どおりに計上できたものの、利益面におきましては、一部の医療機関の新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売案件及びリプレース案件等において競合環境等が想定以上に厳しかったことにより低利益率となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,831,021千円、営業利益は38,542千円となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、独自性を活かしつつ、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、緩やかな成長軌道を維持することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は285,575千円、営業利益は26,656千円となりました。

③ 給食事業

新期受託施設の獲得及び既存受託施設への販売により売上高が堅調に推移いたしました。利益面では、食材原価及び人件費の増加があったものの、その他の売上原価低減に努め、収益の確保に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、223,876千円、営業利益は19,499千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて208,975千円増加し、11,782,505千円となりました。これは、現金及び預金が1,443,233千円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,654,787千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて25,365千円減少し、1,215,739千円となりました。これは、無形固定資産が5,849千円増加したものの、有形固定資産が28,722千円、投資その他の資産その他が2,492千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ183,610千円増加し、12,998,245千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて181,808千円減少し、7,247,003千円となりました。これは、主に買掛金が416,193千円増加したものの、未払法人税等が271,306千円、その他が238,741千円、賞与引当金が30,373千円、短期借入金が30,000千円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,183千円減少し、1,043,127千円となりました。これは、役員退職慰労引当金が14,375千円、退職給付に係る負債が13,579千円増加したものの、社債が22,050千円、長期借入金が7,586千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ183,992千円減少し、8,290,130千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて367,603千円増加し、4,708,115千円となりました。これは、主に資本金が199,962千円、資本剰余金が203,917千円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,443,233千円減少し、4,719,048千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,668,842千円(前連結会計年度は、2,764,536千円の増加)であります。資金の増減の主な内訳は、仕入債務の増加416,193千円、税金等調整前四半期純利益87,813千円があったものの、売上債権の増加1,654,787千円、法人税等の支払額296,033千円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、33,960千円(同 91,784千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8,827千円、無形固定資産の取得による支出17,260千円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、259,569千円(同 213,022千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、配当金の支払額71,280千円、短期借入金の減少30,000千円、社債の償還による支出22,050千円などがあったものの、株式の発行による収入399,924千円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日に公表いたしました2020年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,182,281	4,739,048
受取手形及び売掛金	5,269,560	6,924,347
商品及び製品	26,910	43,450
原材料及び貯蔵品	1,463	1,371
その他	97,197	74,609
貸倒引当金	△3,884	△322
流動資産合計	11,573,529	11,782,505
固定資産		
有形固定資産	499,281	470,558
無形固定資産	71,413	77,263
投資その他の資産		
その他	670,416	667,924
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	670,410	667,917
固定資産合計	1,241,104	1,215,739
資産合計	12,814,634	12,998,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,407,447	6,823,641
短期借入金	30,000	—
1年内償還予定の社債	44,100	44,100
1年内返済予定の長期借入金	21,752	15,172
未払法人税等	311,173	39,866
賞与引当金	113,668	83,294
役員賞与引当金	29,400	8,400
その他	471,270	232,528
流動負債合計	7,428,811	7,247,003
固定負債		
社債	171,200	149,150
長期借入金	166,898	159,312
退職給付に係る負債	296,505	310,084
役員退職慰労引当金	331,880	346,255
その他	78,827	78,324
固定負債合計	1,045,311	1,043,127
負債合計	8,474,122	8,290,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,507	531,469
資本剰余金	287,127	491,044
利益剰余金	3,531,358	3,504,123
自己株式	△1,012	—
株主資本合計	4,148,980	4,526,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,092	75,896
その他の包括利益累計額合計	86,092	75,896
非支配株主持分	105,438	105,581
純資産合計	4,340,511	4,708,115
負債純資産合計	12,814,634	12,998,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	12,340,474
売上原価	11,197,387
売上総利益	1,143,087
販売費及び一般管理費	1,056,894
営業利益	86,192
営業外収益	
受取利息	365
受取配当金	3,885
その他	462
営業外収益合計	4,713
営業外費用	
支払利息	1,212
支払保証料	583
シンジケートローン手数料	1,000
その他	296
営業外費用合計	3,092
経常利益	87,813
税金等調整前四半期純利益	87,813
法人税、住民税及び事業税	32,485
法人税等調整額	4,240
法人税等合計	36,726
四半期純利益	51,087
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,042
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,044

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	51,087
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△10,196
その他の包括利益合計	△10,196
四半期包括利益	40,891
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	33,848
非支配株主に係る四半期包括利益	7,042

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	87,813
減価償却費	44,941
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,561
受取利息及び受取配当金	△4,250
支払利息	1,212
売上債権の増減額(△は増加)	△1,654,787
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,447
仕入債務の増減額(△は減少)	416,193
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,373
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,375
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,579
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,319
その他の流動資産の増減額(△は増加)	22,355
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△185,029
その他	235
小計	△1,376,062
利息及び配当金の受取額	4,449
利息の支払額	△1,195
法人税等の支払額	△296,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,668,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,827
無形固定資産の取得による支出	△17,260
保険積立金の積立による支出	△3,836
敷金及び保証金の差入による支出	△4,157
敷金及び保証金の回収による収入	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000
長期借入金の返済による支出	△14,166
社債の償還による支出	△22,050
リース債務の返済による支出	△926
株式の発行による収入	399,924
自己株式の処分による収入	4,968
配当金の支払額	△71,280
非支配株主への配当金の支払額	△6,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,569
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,443,233
現金及び現金同等物の期首残高	6,162,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,719,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月2日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。上場にあたり、2019年10月1日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行161,000株及び自己株式の処分2,000株により、資本金が199,962千円、資本剰余金が203,917千円増加し、自己株式が1,012千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が531,469千円、資本剰余金が491,044千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,831,021	285,575	223,876	12,340,474	—	12,340,474
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,831,021	285,575	223,876	12,340,474	—	12,340,474
セグメント利益	38,542	26,656	19,499	84,697	1,494	86,192

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,494千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。